



EDB Postgres Advanced Server Release Notes

リリース *14.1.0*

EnterpriseDB

2021 年 12 月 17 日

目次

EDB Postgres Advanced Server 14 の新機能、機能強化、バグ修正、およびその他の変更には以下が含まれます。

Type	Description
Upstream Merge	EDB Postgres Advanced Server 14.1.0 は、オープンソースの PostgreSQL 14.1 上に構築されており、データベースをより効率的な方法でスケールアップおよびスケールアウトできるようにする無数の拡張機能が導入されています。詳細については、を参照してください。も参照してください。
Feature	すべての SQL オブジェクトのストア作成と最終 DDL 時間：ユーザは、オブジェクトが作成され、最後に変更されたときにオブジェクトを追跡できます。ユーザは、それぞれの Redwood 互換ビューを介して、作成された最後の DDL 時間をビューできるようになりました。
Feature	<code>'SUBPARTITION TEMPLATE'</code> の実装： <code>'SUBPARTITION TEMPLATE'</code> 句を使用すると、サブパーティションディスクリプタを提供して、各テーブルパーティションのサブパーティションを作成できます。 <code>'TEMPLATE'</code> を 1 回指定すると、すべてのパーティションに自動的に適用されます。
Feature	<code>PARTITION (<partname>)</code> によるパーティションまたは <code>'SUBPARTITION (<subpartname>)</code> 句によるサブパーティションへのアクセス： <code>'SELECT、UPDATE、INSERT、および 'DELETE'</code> クエリに対して、 <code>'PARTITION(<partname>)</code> 句を使用して特定のパーティションへのアクセスと <code>'SUBPARTITION(<subpartname>)</code> 句を使用してサブパーティションへのアクセスを許可します。
Feature	オブジェクトレベルの監査のサポート：特定のグループを含む、または除外する <code>'edb_audit_statement'</code> GUC の <code>'SELECT、INSERT、UPDATE、DELETE'</code> などの特定の DML ステートメントのオブジェクトを選択的に監査できます。ユーザがリレーションの <code>'(@)'</code> を含めるか、 <code>'(-)'</code> の特定のステートメントタイプを除外できるようにします。現在、 <code>'{SELECT</code> をサポートしています UPDATE
Feature	Audit Log Archiver：新しいパラメータ <code>'edb_audit_archiver'</code> は、DBA が監査ログディレクトリによって消費されるスペースを制御し、監査ログファイルを管理するのに役立ちます。 <code>'edb_audit_archiver'</code> パラメータは、圧縮コマンドを指定し、古い監査ログファイルを削除する前にコマンドを実行することにより、古い監査ログファイルを圧縮するのに役立ちます。
Feature	<code>'USERENV()'</code> のサポート：ユーザ環境とセッション関連の詳細を提供します。
Feature	Redwood 互換のビットワイズ <code>'AND'</code> および <code>'OR'</code> 関数と集計：既存のビットワイズ関数と集計とは異なり、これらは Redwood 互換性のために数値データタイプでのビットワイズオペレーションもサポートします。さらに、ビット単位の <code>'&'</code> および <code>' '</code> のサポートがあります。 operators for the numeric data type.
Feature	<code>'INSERT'</code> ステートメントでのテーブル名前の別名のサポート： <code>'ALIAS'</code> を使用して、 <code>'SELECT、INSERT、UPDATE、または 'DELETE'</code> ステートメントでパーティションまたはサブパーティションにアクセスし、テーブル列を修飾します。例： <code>INSERT INTO table_name t (t.col1) VALUES (10);</code>

次のページに続く

表 1 – 前のページからの続き

Type	Description
Feature	SET コマンドを監査するオプション: SET コマンドをログに記録する新しいオプションが edb_audit_statement にあります。これを有効にするには、log_statement GUC を変更する必要があります。
Feature	オラクルと互換性のある DBMS_SQL: 拡張 DBMS_SQL ファンクションは、INTEGER ではなく NUMBER を受け入れるため、INTEGER から NUMBER の両方の関数が NUMBER と INTEGER の両方のタイプ値を受け入れることができます。これらの関数は NUMBER と INTEGER の両方と互換性があるため、EDB Postgres Advanced Server は入力レンジを INTEGER の制限内に制限します。
Feature	IMPORT FOREIGN SCHEMA を使用して ROWID 列を作成する: リモートテーブルに rowid 列がある場合、IMPORT FOREIGN SCHEMA のパートとして作成される外部テーブルは、以前は外部テーブルの rowid 列をスキップされたしていました。外部テーブル用に rowids 列を作成できるようにします。
Feature	ROWID のグローバルシーケンス: ROWID がデータベース全体で一意になり、パーティションテーブルで ROWID を使用できるようになりました。
Feature	NVL2 は ANYCOMPATIBLE 疑似タイプを使用します。NVL2 ファンクションがかなり多くの引数タイプの組み合わせをサポートできるようにします。例、NVL2 バージョンは、1 つの INTEGER とマルチプルの BIGINT 引数を持つ呼び出しとマッチさせることができ、INTEGER は自動的に BIGINT にプロモートされます。以前の ANYELEMENT バージョンでは、INTEGER を明示的にキャストする必要がありました。
Feature	h コマンドで、EDB Postgres Advanced Server オブジェクトの psql プロンプトに構文が表示されるようになりました。
Feature	EDB Postgres Advanced Server 構文のタブ補完サポート。
Feature	オラクル互換性構文の改善: - ENABLE の構文変更を適用せずにオラクルから移行します。 - USING INDEX ENABLE の構文変更を適用せずにオラクルから移行します。 - NOCYCLE の構文変更を適用せずにオラクルから移行します。 - 上限が高すぎるシーケンスに構文変更を適用せずにオラクルから移行します。これで、EDB Postgres Advanced Server は上限を適用し、ワーニングメッセージをログに記録します。 - NOORDER キーワードを指定するシーケンスに構文変更を適用せずに、オラクルから移行します。キーワードは NOOP キーワードと見なされます。 - NOORDER キーワードは EDBPostgres EDB Postgres Advanced Server で有益な効果がなく、無視されることを示すワーニングメッセージがログに記録されます。
Enhancement	CONNECT_BY 機能の機能強化: - マルチプルの PRIOR 式の使用を許可します。 - 単一、パイナリ、または事前式の任意の組み合わせを許可するには、マルチプルの条件で AND / OR を使用します。 - 単一式の使用。 - CONNECT BY クエリーで PRIOR をオプションにします。 - サイクルを検出するファンクションを拡張して、マルチプルの PRIOR 式で機能できるようにします。 - ターゲットリストで PRIOR をサポートします。

オラクルデータベースと互換性のある EDB Postgres Advanced Server の機能については、次のガイドを参照してください。

- [Database Compatibility for Oracle Developers SQL Guide](#)
- [Database Compatibility for Oracle Developers Reference Guide](#)
- [Database Compatibility for Oracle Developers Built-in Package Guide](#)
- [Database Compatibility for Oracle Developers Tools and Utilities Guide](#)
- [Database Compatibility Table Partitioning Guide](#)
- [Database Compatibility Stored Procedural Language Guide](#)